

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和元年十月十三日発行（毎月二回十三日発行）

定価 五〇〇円

第937号

第七十五巻

11

月号

高 知 道 會
龍 跳 書 知 高

伊藤東海書

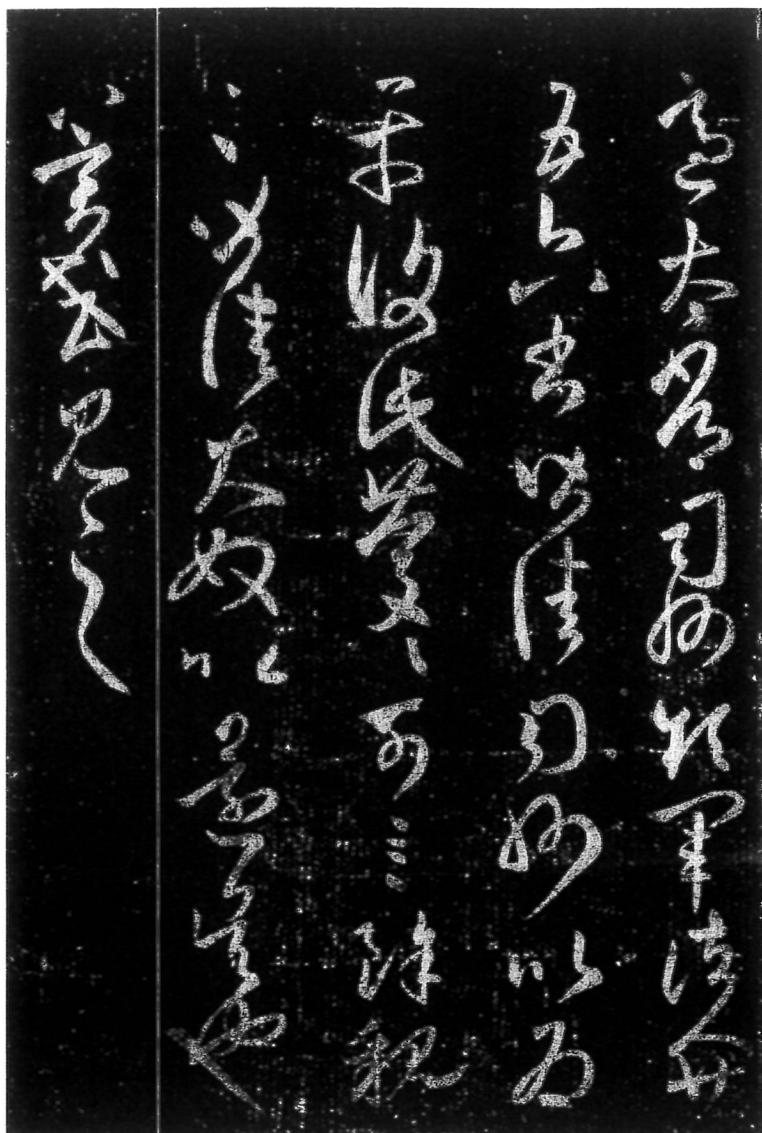
暮雲作釀百種態禽鳥又弄萬般聲

伊藤東海

暮雲作釀百種態禽鳥又弄萬般聲

王羲之

尺牘集より



適太常司州領軍諸人。廿五六書皆佳。司州以爲平復。此慶々可言。餘親々皆佳。大奴以還具也。冀或見之。
（注）適たま太常司州領軍諸人の、二十五六の書は皆な佳なり。司州は以て平復と為す。此れ慶々言う可し。餘の親々は皆な佳なり。大奴は以てに
吳に還る也。冀わくは或いは之を見んことを。

王羲之「一一」

臨書について

臨書の基本の中に視覚についての指導があります。

臨書は手で練習するだけではありません。目をこらしてよく見極めること、そして、それに馴れることがあります。

原本そつくり書いても駄目で筆圧、速度、気脈、空間など、視覚に訴える芸術でもあります。

今月も太常帖第二回を共に学びたいと思います。高段者の皆さんはぜひ半切の臨書にも挑戦して下さい。

不知細葉誰裁出二月春風似剪刀

不知細葉誰裁出
二月春風似剪刀

山下枝雪臨

自立舒光射丸々柏見吐子效鶴疑縮
吐子效鶴疑縮

自立舒光射丸々柏見吐子效鶴疑縮

梅
川
桂
龍
書

更愁為客五

客と為る五更の愁い

梅
川
桂
龍
書

書
不
快
用
開

用 もら
い い づ
書 袋 しょく
幀 を 開 く を

11月20日締切

福 原 曉 雲 書



山秋にして菊葉香し

出間桂堂臨

王羲之

太常帖

平復此慶：可





中平美峰臨

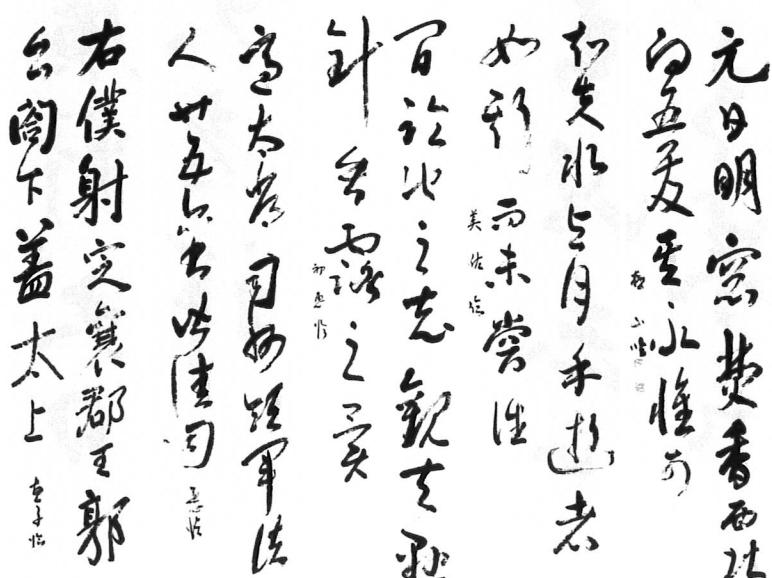
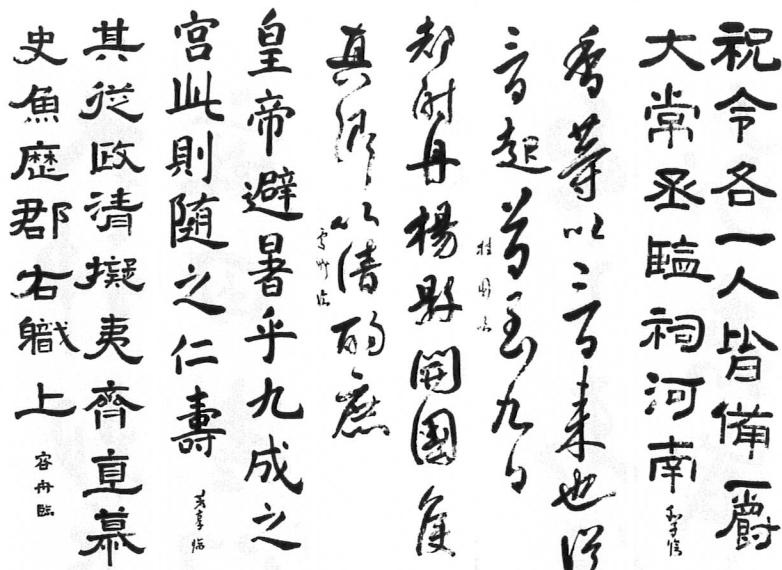
大神朝尼廣野大日
麻田吉門大吉祥

美峰山

岡本空仁臨

此之為保志此志也
亦志哉此之為矣

空仁臨



河村容舟

市川芳享

市原處艸

大原桂園

田村和子

門田惠子

隅田亘心

久保地初惠

別役美佐

西山極山

条幅当選作品 北代碧山 選評

★天位

田村和子君||沈着冷静な筆致、明るい作。

大原桂園君||日頃の鍛錬がしのばれる力作。さわやかである。
市原處艸君||筆圧やや不足なるも、練達の臨。

市川芳享君||無難によく臨している。

河村容舟君||手馴れた臨なるも、少し自己主張すぎるのは?

★地位

西山極山君||たどたどしい筆致も散見している。もつと自然な
伸びがほしい。

別役美佐君||もっと呼吸ながく、ゆつたり書くと尚よくなる。
久保地初恵君||筆力充実するも、少し息短かの感。大きく息す
つて。

★人位

隅田亘心君||やや一本調子だが、筆力は充分だろう。
門田惠子君||もう少し鋒の開きがほしい。筆力は上々。

**作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)**

▷ 次回審査会 ◇

10月の審査は27日(日曜)午前9時30分に開始します。審査会場は**高知城ホール**です。

深紅葉
し
秋

中學一年課題　廣末幽念書

泰天下平

高
理
想

小学五年課題 山下枝雪書

覺
聞

え
き

世界の

世界の

小學三年課題
大原桂園書

外交

孝

小学一年・ようち・ほいく課題

山本瑞草書

ひ
と

学校名	人間がみんな人間らしい生き方ができる社会、それだけ
六年	でなく、動物も植物も、たが
級段	いに心が通い合うような世界
氏名	が宮沢賢治の夢であり、追 い求めた理想だった。

学校名	五兵衛のすぐれた決断と行					
五年	動は、読み手の心に大きな感					
級段	動をよび起こしたが、同時に、					
氏名	津波のこわさや、すばやく高い所へにげるこの必要性を					
	教えることにもなつた。					

学校名	中山様のおしろの下を									
四年	通つて、少し行くと、細									
級段	い道の向こうから、だれ									
氏名	か来るようです。チンチ									
	松虫が鳴いています。									

みそを作るには、むし
た米か麦にコウジカビを
ませたものを用意します。
それと、しおを、にてつ
ぶした大豆にくわえてま
ぜ合わせます。

がっこう	一 ドを書 きまし う。	し ょ う か い す る	友 だ ち に お 話 を 力	う 。 読 ん だ お 話 を あ と で	本 を 読 み ま し よ
二 ねん					
だ ん きゅう なまえ					



腕法（わんぽう）について

書写する時の腕の構え方をいう。腕法には懸腕法・提腕法・枕腕法・廻腕法がある。懸腕法は、手首と肘を机から浮かせ、自在に腕が動くような構え方。多く双鉤となり、懸腕直筆という熟語もある。これによると運腕が大きくなるので大字を書くのに適している。提腕法は、肘から手首に近い部分を机に軽くつけて構える法。中字以下を書くのに適している。枕腕法は、左手を紙の上に置き、掌の甲を枕にして右手首を軽く乗せて書く構え方。着腕法ともいう。その多くは単鉤となり、細字や仮名を書く場合に最適である。廻腕法は、日下部鳴鶴が唱導した腕法で、右肘を半月形に張り出し、母指と四指とを向い合わせて筆管を持ち体の前面にかかるような構え方であり、特殊な腕の構えである。このような腕の構え方は書の巧拙に大きく影響するので、表現によって工夫する必要がある。

（書学大系より）

出品者のみなさんへ

- 出品票の記入は楷書で地名、氏名（姓号）を確に書いて下さい。
- 段位の方は朱書き、級位の方は黒書きして下さい。
- 段位は漢数字、級位はアラビア数字で書いて下さい。
- 新規出品者は級位の欄へ「新」と書いて下さい。
- 出品は各競書一点です。
- 低学年の生徒名もできるだけ5字以内にまとめて書いて下さい。
- 落款も評価の対象になります。
- 出品票には年度と月が入っています。
- 必ず規定のものを使って下さい。
- 出品票ははづれないよう、きちんとのりづけして下さい。

還家萬 還家萬 還家萬 還家萬 還家萬
 里夢 里夢 里夢 里夢 里夢

還家萬 還家萬 還家萬 還家萬 還家萬
 里夢 里夢 里夢 里夢 里夢

還家萬 還家萬 還家萬 還家萬 還家萬
 里夢 里夢 里夢 里夢 里夢

還家萬 還家萬 還家萬 還家萬 還家萬
 里夢 里夢 里夢 里夢 里夢

還家萬 還家萬 還家萬 還家萬 還家萬
 里夢 里夢 里夢 里夢 里夢

還家萬 還家萬 還家萬 還家萬 還家萬
 里夢 里夢 里夢 里夢 里夢

還家萬 還家萬 還家萬 還家萬 還家萬
 里夢 里夢 里夢 里夢 里夢

還家萬 還家萬 還家萬 還家萬 還家萬
 里夢 里夢 里夢 里夢 里夢

還家萬 還家萬 還家萬 還家萬 還家萬
 里夢 里夢 里夢 里夢 里夢

還家萬 還家萬 還家萬 還家萬 還家萬
 里夢 里夢 里夢 里夢 里夢

(一段目) 出間桂堂 選評
 處艸君||運腕自在でのびやか、章法
 巧み。恵花君||線質にみるべきものあり。
 美津子君||丁寧な作、全体のバランス
 清園君||粘り強い線で、氣力充実の
 作。智子君||品格が感じられる作。
 (二段目) 選評
 里花君||スケール大にして線のみ
 あり。波法の動き悪い。
 恵歩君||線の動きよく全体が明るい。
 貴志子君||線引きびしく深い。「萬」に
 ゆつたりさがほしい。
 康華君||線深く無駄がないが、大ら
 妙慧君||明るい線ですばらしい。
 「家」のスタイルよくない。
 (三段目) 岡崎緑水 選評
 紫陽君||線よく伸び余白が生きてい
 る。玉泉君||落ち着いて、丁寧な書きぶ
 竹山君||小粒だが線強く、まとまり
 利恵君||前者と同じ。紙にくい込んで佳。
 (四段目) 野島桂山 選評
 亜梨沙君||丁寧な書。よくまとめて
 淳君||力みなくよく仕上げています。
 紀美子君||字々よい。落款もう少し
 小さく。
 美紀君||無理なくまとっています。
 隆光君||勢いあります。この調子で。

以含生 以含生 以含生 暮春之
 四時 洋女君 三段目 選評
 也含多菊在酒 以含生 以含生 初會 勝子
 司馬三萬 室友房 三段目 選評
 鄉里上 以含生 庭若披 以含生 四時 守
 齋宗 葵本子 三段目 佐子均子
 四時 田中幽峰 選評
 雲而今是 以含生 以含生 四時 梶代
 四時 丁寧 三段目 選評
 神怡 有己快然 以含生 初會 勝子
 研差此 刀利亭 自足 以含生 四時 梶代
 繼餐有己快然 以含生 以含生 四時 梶代
 之乃 以含生 以含生 四時 梶代
 以含生 以含生 以含生 四時 梶代
 四時 梶代
 四時 梶代
 四時 梶代

(一段目) 洋女君||原帖とは異なるが、作品としては太細線を入れ、良くまとめてある。福原曉雲選評

里花君||筆深く沈着、大らかで大胆な作品で迫力有。臨書名を出品表に記載のこと。

亘心君||運筆リズムと流れをとる、線質は今一步。

恵花君||争座位帖、形は良くとも線に潤い無し。研究して下さり。

(二段目) 芳春君||大胆な作品で迫力有。臨書の作。

里花君||筆深く沈着、大らかで大胆な作品で研鑽され。この調子がよい。

朱山君||用筆よく線は強いが呼吸を欠く。田中幽峰選評

紅花君||行法、加味され。よし。や

伯水君||朴訥で素朴な作。出品表、前者と同じ。

明子君||規模雄大にして清潔。好感の作。

(三段目) 梅川桂龍 選評

絢子君||運腕大きく勢いあり。

守君||筆良く紙に食い込み、力強いい作。

祥山君||素直に書いて安定している。

圭子君||軽快な動きで流れが良い。や

千歩君||線で研鑽され。今後の活躍を期待します。

(四段目) 廣末幽念 選評

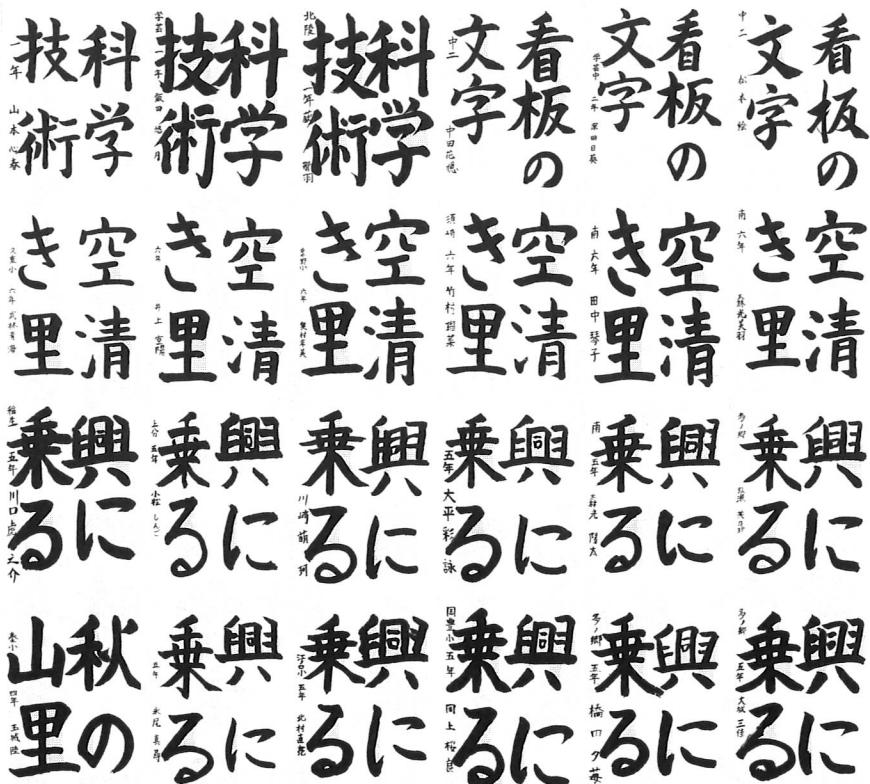
勝子君||線に鋭さあり、動きも大きい。

輝代君||堂々として明るい作。

波美江君||丁寧な書きぶりで良い。

幸子君||伸びやかで明るい作。

幸子君||伸びやかで明るい作。



(一段目) 中学部

前田秀華

選評

絵君||線に深さと味わいがあり。
日葵君||素朴に書けて、好感がもてます。

花穂君||素直な運筆で明るい。

那羽君||紙面いっぱい、丁寧に書けています。

悠月君||大らかで堂々とした作品。

心春君||落ち着いた明るい作。

(一・二段目) 小学六年

塙地桂峰
選評美羽君||力強く堂々としている。
琴子君||大きく書き、良くまとまっている。

瑠菜君||おちついて書けている。

来美君||伸び伸びと書けている。

空陽君||力強く良くまとまっている。

青海君||伸び伸びとしていて良いが、線がやや細い。

(三・四段目) 小学五年

岡林邦心
選評

英乃玲君||伸び伸びとして良い。「に」の三画目が残念。

陽太君||落ちついて書けて良い。

彩詠君||落ちついて書けて良い。

萌珂君||ていねいで良い。

しんご君||まじめに書いて良い。「に」の三画目が下す

ぎた。

虎之介君||どつしりとして良い。

三佳君||紙面上手にまとめ、名前も良い。

夕苺君||ていねいで良い。

桜良君||どつしりと書けて良い。

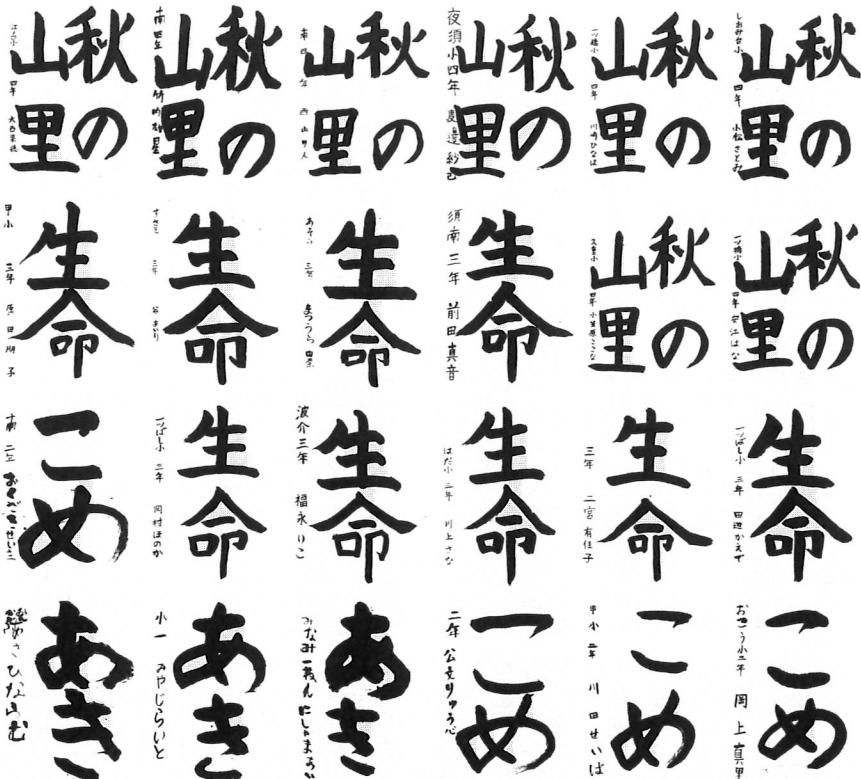
直亮君||落ちつきのある作。

真尋君||ていねいに書けて良い。

(四段目) 小学四年

陸君||堂々と書けています。

大八木洋女
選評



(一段目)

さとみ君||力強い線で書けています。
ひなは君||伸び〜と書けています。

紗己君||よく書けています。
璃人君||よくまとまっています。

雄星君||元気に書けました。
果穂君||上手に書けました。

はな君||強い線で書けています。
ここな君||清々しいです。がんばつてください。

(一・二・三段目) 小学三年 佐々木港花
真音君||元気一杯で形もすばらしい。

由奈君||力強く書けました。
ありり君||するどい線で形もよく書けました。

朋子君||やわらかくゆっくり書けました。
かえで君||筆を下ろした時、強くあたつていけたら。

有佳子君||形よく書けてますが、もう少し強く。
さな君||はじめて落ち着いて書けました。

りこ君||元気に書けました。
ほのか君||形はよいですが、元気に書いて下さい。

(三・四段目) 小学二年 市原處艸 選評
せいま君||おもいきり書けています。形も良い。

真里君||すぐれていいねいに書いて良い。
せいば君||形良くおちついて書けていますね。

りゆう心君||元気な作品で良い。
(四段目) 小学一年・ようち・ほいく 岡本志峰 選評
あい君||力づよくかけています。
らいと君||かかるくてのびやかにかけています。

らむ君||かみにむかっておもいきりげんきな字ですね。

硬筆優秀作品

南
一ツ橋

森光美途
田岡芽途

久重郷
多ノ郷
武林 青海
弘瀬英乃玲

久重
浦ノ内
小笠原
上田梨里香

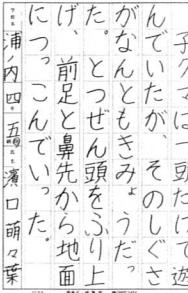
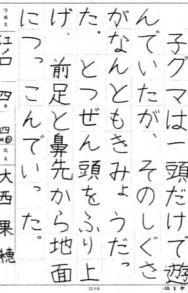
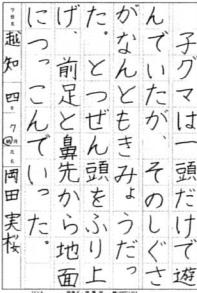
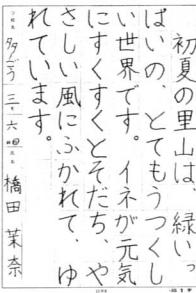
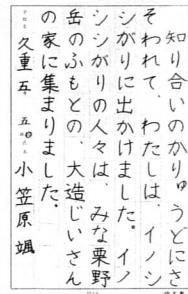
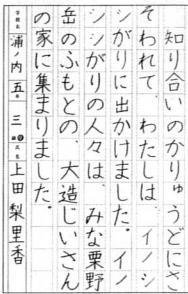
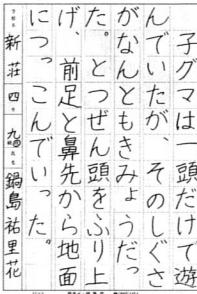
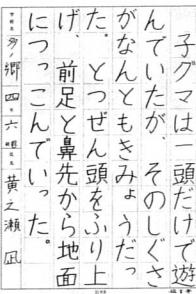
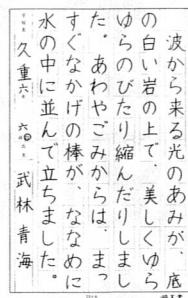
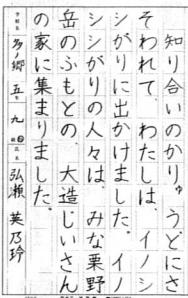
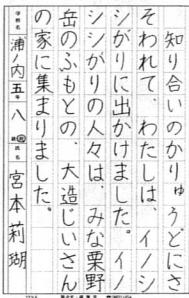
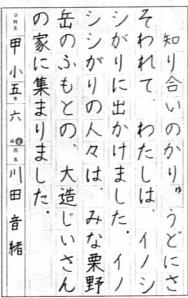
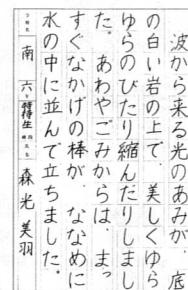
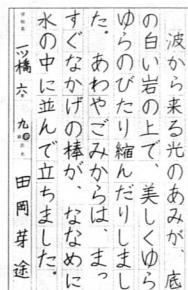
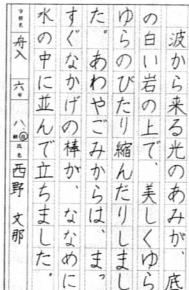
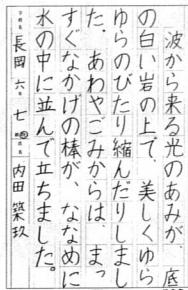
江ノ口
濱口萌々葉
大西 果穂

舟入
長岡 西野文那
内田築玖

浦ノ内 宮本莉瑚
川田音緒

新莊 多ノ郷
鍋島祐里花
黄之瀬 凪

越知 多ノごう
岡田美桜
橋田茉奈



硬筆優秀作品品

秦須南

へわ 一ツばし
塩見 日うらやすひと
ゆいな

くれ
おおノごう
おくだいさと
もりみつひな

うじはらいちの
ふじ田 ゆあ

初夏の里山は、緑い、
ばいの、とてもうつくし
い世界です。イネが元気
にすくすくとそだち、や
さしい風にふかれて、や
れています。

初夏の里山は緑い、
ぱいの、とてもうつくし
い世界です。イネが元気
にすくすくとそたち、や
さしい風にふかれで、ゆ
れています。

初夏の里山は、緑い、
ばいの、とてもうつくし
い世界です。イネが元気
にすくすくとそだち、や
さしい風にふかれて、ゆ
れています。

初夏の里山は、緑いっぱいの、とてもうつくしい世界です。イネが元気やすくすくとそだち、やさしい風にふかれて、ゆれています。

絵にかいて、見
せながら読んだり
紙しばりを
つくつたりを
楽しいですね。
樂しいですね。

絵かいて見せ
ながらう読んだり
紙しばいを者えて
つくつたりしても
楽しいですね。

絵にかいて、見
紙しばらを読んだり
つくつたりを考えて
楽しいです。

絵にかいて見て、見ながら読んだり紙しばいを考えて、もしくは、たりしても楽しんでね。

木のかげや、くさのいいだから、くさづねがとびだしました。

木のかげや、く
さのあいだから、
一こぎつねがとびだ
してきました。まへしままへしまそう

木のかげや、
このあいだから、
一ぎつねがどうひた
してきました。
三〇
もりみつひな

絵に	せながからう	か
紙しばりを	かくし	見
くぱいを	て	見
くぱいを	だり	見
くぱいを	だり	見

木のかげや、くさのあいだから、こぎつねがとびだしました。

木のかげや、
木のいいだから、
こぎつねがとびた
してきました。
うじはらじの

第898回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

審查 北代 碧山

(※印写真版)

★推薦

※江西澄翠
※武内美仁
※中平美峰
※岡本空仁

★天位

※田村和子
※大原桂園
※市原處艸
※市川芳享
※河村容舟
宮本キン子
大崎紫陽

※西山極山
※別役美佐
久保地初恵
吉田深美

※ 開田亘心
水田恵子 横山桂
藤原朱鳳 橋本昌平
北村哲郎 明石美桂
岡林 高橋栄芳
浜崎洋介 深瀬洋
池 介 芳春
奥崎 奥崎
吉永 永翠
躍翠

廣田香翠
辻本里仙
伊吹悠道
岩村祥

須山須崎須田須崎須南須介
市原處艸
野中惠花
江西澄翠
野島桂山
内美仁
塚地桂峰

規定

岡林邦心
林敬旭
田村昭生
岡澤さわ
中城康廉
西村由香
武政幽雅
岩崎竹山
上田夏
大石千施
氏原美泉
佐竹江月
谷合紅花
川渕瑞容
岡田雄山
広田秋櫻
中城知抄
笠原豊
山脇佳月
西村眞理子
山川百合
大野美賀
松本泰津

池大多旭香須旭窪山窪久須山旭旭山豊高吾土
川野ノ筆北南筆川田川礼南田筆筆田中知桑佐
見郷

佐南王東久山旭須上旭久高越山
川国子洋礼田筆崎分筆礼知知田

天松岡美津子堅田清園桑原智子逸見翠西内仁子森森喜美子岡本空仁尾崎勢葉吉田深美林綠翠奥崎羅翠別役美佐河谷羽花芝田容舟高橋朱鳥片岡政徳

★五段

越野田加礼山田久知新田知久禮田須南香北山田知
萩野山田水白姓氏原美泉長町白水横山桂華門田惠子
中橋柳芳中城抄大池芳春

高須久旭大仁淀川
知南礼筆野見川
川瀬瑞容坂下元玉泉
田村昭生本山崎紫陽
渕守絢子

須南川佐
旭筆津野
小浜野山
北村美喜
哲郎日実
子恵子

旭高津窪筆知野川
山山丸隅田吉永光翠
口口美智二郎宏子葉翠
林和山西津高伊浪辻清武松岡
田脇村野橋吹上本水政浦明妙慧
敬佳由恵伸悠理里幽子慧
旭和月香泉水道奈仙充雅
正旭窪須東久窪土窪吾香
筆川川崎洋礼川佐川桑北

東洋窪川筆洋知洋東東前田伸枝島利恵
本惠美仁淀川須崎大橋吉井佳代
藤原りえ岡田吏恵

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。



岡本空仁氏



天野喜美子氏

この度は準師範に認定して頂きまして有難うございました。
大八木先生の講座で書道を始めて、その後出間先生に御指導して頂き、いつも丁寧で温かいお
言葉を頂き継続出来ました事、御二人の先生に深く感謝申し上げます。
又、教室の皆様の和やかな雰囲気と諸先輩のアドバイスに助けられました。有難うございま
す。これからも日々努力を重ねて参ります。今後共、御指導の程よろしくお願い申し上げます。

不_む知_し細_ほ葉_葉誰_だ裁_さ出_だ二
月_{つき}春_{はる}風_{ふう}似_{たが}剪_き刀_{とう}

この度は準師範に認定していただき有難うございました。

武内美仁先生の丁寧なご指導、又山田教室の先輩方の励ましのお陰だと感謝しております。
まだまだ未熟でございます。今後ともご指導よろしくお願ひ致します。

不知細葉誰裁出二
月春风似剪刀

のり代

元年
11月
規定地
名氏
名段
級

のり代

元年
11月
隨
意臨
は
出
典
名氏
名段
級

級



別役美佐氏

西森幹子氏

この度は準師範に認定して頂き、誠にありがとうございました。出間先生のいつも変わらない温かい御指導と、教室の皆様のお陰だと心より感謝しております。まだく未熟でございますが、今後とも御指導よろしくお願い致します。

不む細柔謹謹裁出ニ 乃玉之以剪刀

この度は、準師範に認定していただきましてありがとうございます。

地域の書道教室に入門し、継続することの大切さを大八木先生から、「書」の魅力と奥深さ、半紙・半切に心の動きを表現する素晴らしさを出間先生から教えていただき、そして、現在、市原先生から、次なるステップアップの一歩をお習いしているところです。教えていただいた様々な事柄を力にできず、途中下車をしてしまったこともあります。教室の岩河先生はじめ、仲間の皆様方に励まされての今日です。スタートはこれからと思っています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

大唐三藏聖教序太 宗文皇帝制衣蓋

毛筆の部

西山乃愛

中田花穂

森光凜

深田日葵

この度は特待生に選んでいただきありがとうございました。私は小学二年生から習い始めました。それから、10級から9段までは順々に上がつてきましたが、9段から特待生になることになりました。これからも字をきれいに書くようにしていきたいです。

この度は特待生に選んでいただきありがとうございました。私は小学二年生から習い始めました。それから、10級から9段までは順々に上がつてきましたが、9段から特待生になることになります。諦めずやつても難しく、もう諦めようかなと思いまして、いろいろな場面でいかしていきたいと思います。これからもいろいろな場面でいかしていきたいと思います。

このたびは特待生に選んでいただきありがとうございました。これからもたくさんの字に挑戦していきたいです。

この度は特待生に選んでいただきありがとうございました。中学の勉強との両立が大変でしたが特待生になれました。とても嬉しく思います。これからもいい字を書いていきたいと思います。

(新特待生紹介)

(出品票)

のり代

元年

11月

毛筆

校名

保学年

年

氏名

段級

のり代

元年

11月

硬筆

校名

氏名

名

段

級

この度は特待生にしていただきありがとうございました。途中何度もくじけそうになつたこともありましたが、続けてきて本当に良かったと思ひます。これからも上手な字を書けるように努力を積み重ねていきたいと思いま

森光美羽

硬毛筆の部



特待生に選んでいただきありがとうございました。ぱくは、保育園のところから硬筆にいつていきました。それで特待生になれてうれしいです。中学生になつてもがんばります。

井上空陽

硬筆の部

美島菜花

この度は特待生にしていただきありがとうございました。私は漢字が苦手で苦労しました。マスの下の方につまつてしまふの。手を直すのが大変でした。でも特待生になるため上からくよく練習をしました。だんだんとバランスがよくなりました。ありがとうございました。

お知らせ

◎第41回畫心会書展

会期
11月1日(金)～11月3日(日)

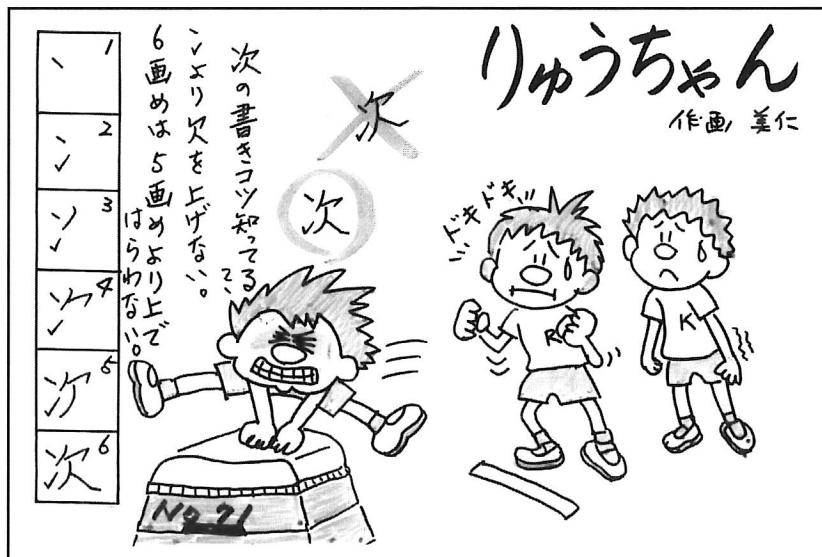
午前9時～午後5時

会場 須崎市立市民文化会館

◎第18回高知連合選抜書展

会期
11月10日(日)～12月15日(日)

会場
安芸市立書道美術館



連絡・問い合わせ・送り先等

新規入会申込と会費の送金先

「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一ー

隅田亘心

龍跳書道会 振替口座番号

01690-3-31925

電話 (0八八九) 三五一一〇九七一番

月例作品の送り先

〒783-10081 南国市片山四九〇

西山極山

電話 (0八八八) 八六五一八八五七番

「龍跳誌」の内容について

〒781-6410 安芸郡田野町一四五六一九

廣末幽念

電話 (0八八七) 三八一五二〇八番

編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話 (0八八九) 四一一三〇六七番

送本についての連絡先
(冊数の相違等については当方へ連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話 (0八八九) 四七一〇七一一番

あとがき

安倍政権は2014年に公的年金積立金の運用先を株式比率を高めるように変更しました。これにより運用益があがった分について安倍首相はアベノミクスの成果として随分自慢してきました。ところが2018年10月～12月期に14兆8千億円もの損失が発生していました。しかし都合の悪い事には一言も触れない、公的年金積立金は、現在の年金受給者だけでなく将来世代も含めた国民の財産であり政権の考えだけで危険に晒すことは許されない持続可能な年金制度を実現するため公的年金積立金の投機的な運用を見直すことが必要。

○過日高新区の報道によると、虐待する親の7割が幼少期被害のあつた人達であつた。自分が虐待を受けて育つたので、せめて、自分の子どもは虐待しないで育していくとならぬのが残念。

月例競書課題

保育	年	年	年	年	年	小学六年	年	年	中学三年	半紙隨意	半紙規定	一般条幅	部別 締切日		
	783-10081	南国市片山四九〇	西山極山宛	(088) 865-8857	ひとつる	きくゆ	外交場	月の世界	聞き覚え	高い理想	天下泰平	紅葉秋深し	任意	不用開書帙	任意

会費の送金について

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は手料不要)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

$$\begin{aligned} \text{Ⓐ} &+ \text{Ⓐ} = 290 \text{円} \times \text{月数} \\ \text{Ⓑ} &+ \text{Ⓑ} = 360 \text{円} \times " \\ \text{Ⓒ} &\times 3 = 630 \text{円} \times " \end{aligned}$$

◎会費と龍跳誌手料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 • 〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 • 振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎ 0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 手料 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	発行人	編集室
須崎市東古市町二二一六 電話 (088) 421-0244	(有) 笹岡印刷所 電話 (088) 381-5208	安芸郡田野町一四五六一二九 電話 (088) 381-5308	中平幽念(本部) 江西翠峰 前田美峰 野島翠華 桂山碧山 北代幽念
	龍跳書道会		